



「第2次香取市総合計画後期基本計画」

～かとりみらい会議（市民ワークショップ）～



# かとりみらい会議へのご参加ありがとうございます！

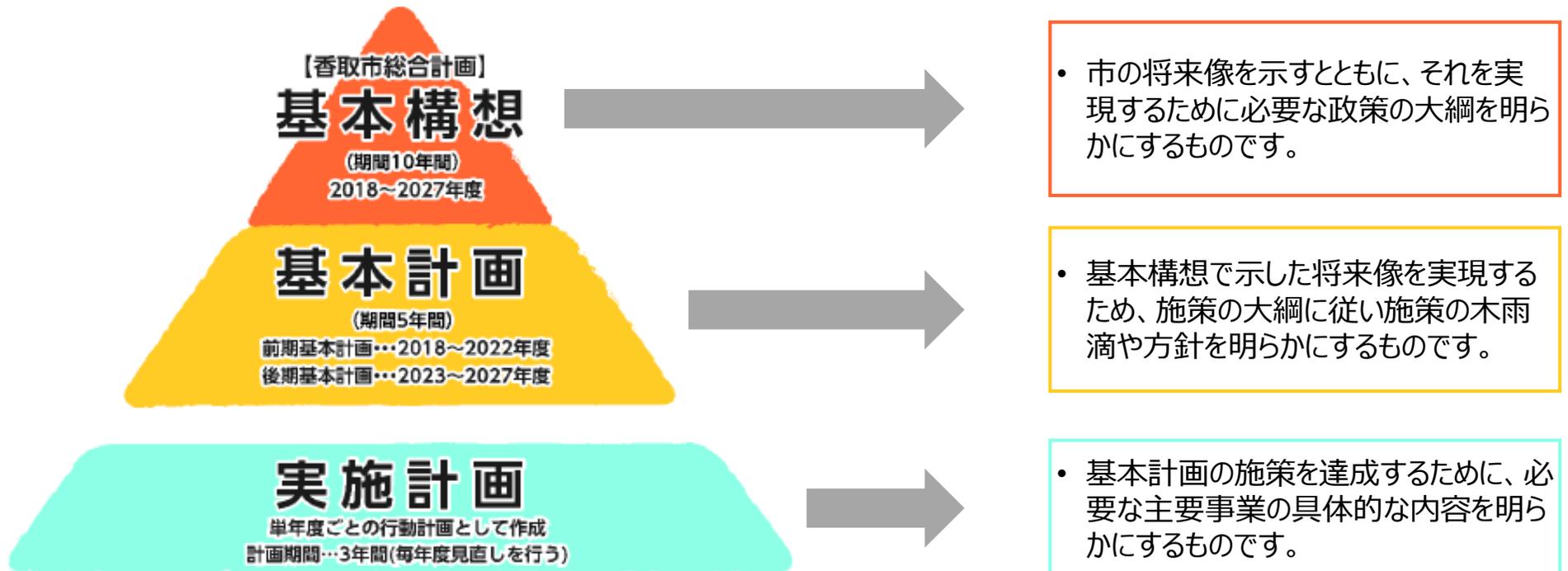
本日の実施内容とタイムスケジュール（時間配分）は以下を予定しています。

配分	項目
—	開会（あいさつ）
10分	<ul style="list-style-type: none"><li>アイスブレイク、自己紹介タイム</li><li>第1ラウンドの流れ説明</li></ul>
20分	第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」
5分	第2ラウンドの流れ説明
50分	第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」
5分	休憩・発表準備
30分	全体共有
—	閉会（総括、事務連絡等）

# 総合計画とは

総合計画は、より質の高い市民生活を実現していくための、本市における最上位のまちづくり計画であり、市のまちづくりの中核となる計画です。

「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層から構成され、運用されています。



## まちの将来像

総合計画では、今後10年間で目指す市のすがた（まちの将来像）を以下のように考えています。

※次期計画策定に向けた検討を進めており、今後、まちの将来像を見直す可能性があります。

# 豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取

## ～人が輝き 人が集うまち～

### 豊かな暮らしを育む

老若男女を問わず香取市に関わるすべての人が、日々の暮らしの中でそれぞれの希望や理想の実現に向けて、活動し活躍できるまちを目指します。

- 住民自治協議会（まちづくり協議会）やNPOをはじめとしたまちづくりの活動

### 歴史文化・自然の郷

豊かな自然と、歴史・文化などの地域視点を活かしながら、郷土の誇りと愛着を育みます。

- 佐原の大祭、山倉の鮭祭り、水郷小見川花火大会、栗源ふるさと祭り、伊能忠敬翁、香取神宮、佐原の町並、利根川、黒部川、小見川城山公園

### 人が輝き 人が集う

市民が健康で豊かな生活を送るとともに、市内外から多くの人が集まり交流することで、互いに高めあい、さらに賑わいに溢れたまちを目指します。

- 持続可能な地域社会の実現に向けた人材育成、地域活動の活性化、人々の交流による活性化やまちづくりの新展開



## 施策の大綱（各分野の方向性）

「目指すべきまちの姿」を実現するために、次の6つの分野を施策の大綱として定め、効率的かつ効果的に各分野の施策を推進しています。

農業をはじめとした産業や、歴史・文化といった地域資源を最大限に活かしつつ、住んでいる人、訪れる人、これから住む人、香取市と関わりを持つすべての人々にとって魅力的なまちづくりを展開していきます。

※次期計画策定に向けた検討を進めており、今後、施策の大綱を見直す可能性があります。

1.産業・経済の振興	～産業の活性化によりまちの活気を高め、賑わいのあるまちを創る～
2.環境の向上	～水と緑のやすらぎを感じ、安心・安全に暮らせるまちを創る～
3.健康・福祉の充実	～支えあい、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを創る～
4.教育・文化の振興	～地域の歴史・文化を知り、未来を担う人を育むまちを創る～
5.都市基盤の整備	～安全で快適な魅力あふれるまちを創る～
6.市民参画・行政の取組	～みんなが力を発揮して将来に続くまちを創る～

# かとりみらい会議 結果の活用方法

香取市では、総合計画（まちづくりの最上位計画）の策定に際して、香取市で暮らす市民の皆様から頂いた多様な意見を活用していきます。

※ページレイアウトは現行計画のものであり、次期計画ではレイアウトを見直す可能性があります。

## 本日の会議結果の活用方法

➤ 「施策の展開」の“取り組み方針”に反映

➤ 「現状」「主な課題」に反映

➤ 「市民・地域への期待」に反映

### 1-2 商工業

■ 担当課 ■ 商工観光課 ■ 関係課 -

#### 5年後の目指す姿

新規創業者や事業拡大等による、空き店舗の解消を目指します。これにより、既存商店街の魅力が向上し、地域で買い物が行われ、買い物客で賑わう商店街が形成されています。また、雇用の受け皿となる優良な事業所等が多く立地しています。

#### 施策の成果を表す指標

指標名	指標の説明	現状値		目標値	
		2017(H29)	2018	2020	2022
商工団体加入事業者数	佐原商工会連所と香取市商工会に加入する会員の合計事業者数 (出典：商工観光課調べ)	1744 事業所	1744 事業所	1744 事業所	1744 事業所
空き店舗新規開店数	香取市空き店舗対策事業補助金の交付を受け、新たに空き店舗に出店した事業者数（計画期間中の累積数） (出典：商工観光課調べ)	—	3件	10件	15件

#### 現状

- ・全国的に、市街地では空洞化や空き店舗の増加、シャッター通り化が進んでおり、中心市街地の商業活性化が課題となっています。また、工業では、担い手の確保が課題となっています。
- ・本市では、近隣市の郊外型大規模ショッピングモールに買い物客が流出し、地域の商店街での消費が少なくなり、活力が低下しています。そのため、商店街活性化を図るためのイベント開催支援や、プレミアム商品券発行事業による消費喚起などの取り組みを行っています。
- ・高店等の後継者不足や高齢化、廃業等による空き店舗増加の問題を抱えています。空き店舗対策事業では、新規開業者が香取市総合計画の期間中（平成20～29年度）に14件と一定の実績をあげているものの、商店街の活性化には結びついていない状況です。
- ・工業は、小見川第一工業団地と農工団地があり、小見川工業団地連絡協議会に参加して地域の工業振興に努めています。

#### 主な課題

- ・地域の中心市街地の商業活性化が必要です。
- ・新たに事業を行う事業者に対する支援が必要です。
- ・空き店舗への出店者に対する支援の充実が必要です。
- ・事業承継の支援が必要です。
- ・近隣市へ流出している買い物客を取り戻すため、集客力の高い商業施設の誘致が必要です。
- ・市内の工業の活性化が必要です。
- ・潜在的な課題として地域工業の後継者の確保・支援が必要です。

### 施策の展開

#### 取り組み方針①：商店街等への支援及び商業団体の支援・育成

地域の商店街の魅力向上に向けたイベント、事業等に支援を行い、商店街の活性化を図ります。また、佐原商工会連所や香取市商工会、商店会連合会などの各種商業団体と連携し、基盤強化、商業活性化に向けて取り組みます。さらに、今後増加することが見込まれる観光客を対象とした事業、商品の開発等を地域の商工業者と連携し促進します。

主な事業 ● 商業活性化事業 ● 観光客を対象とした事業、商品の開発事業  
● 商工会連所・商工会支援事業

#### 取り組み方針②：新たな創業者等への支援と空き店舗への出店促進、事業承継の支援

新たに事業を行う創業者や新たな分野に事業展開する事業者に対し、相談、支援体制を拡充します。これに加えて、商店街の空き店舗への出店を促進し、商店街の賑わい創出に取り組んでいきます。また、事業主の高齢化や後継者不足により、廃業となるケースが増加していることから、既存商店等の価値を引き継ぎ、事業を継続し、空き店舗化を防ぐため、事業承継を推進します。

主な事業 ● 創業支援事業 ● 事業承継支援事業 ● 空き店舗対策事業

#### 取り組み方針③：集客力の高い商業施設の誘致

市外に流出している買い物客を市内に集客するとともに、市内での買い物客の利便性向上を図る観点から集客力の高い商業施設の誘致を図ります。

主な事業 ● 商業施設誘致促進事業

#### 取り組み方針④：市内の工業の活性化

既存事業者が、市内で事業を継続的に行うことや新たな設備投資、事業規模の拡大等に対し支援を行い、地域経済の基盤となり雇用の受け皿となる工業の活性化を推進します。

主な事業 ● 既存製造業の規模拡大等への支援

### 市民・地域への期待

市民・地域への期待
商店街の魅力向上(事業者)
事業継承に向けた早期検討(事業者)
工場等の周辺住民・環境等への配慮(事業者)

## 下記6テーマから、グループで2テーマを選び、議論します

以下の6つの分野の中から2つのテーマを選択し（1テーマは割り振り済）、それぞれのテーマについて強み・魅力、弱み・課題を整理します。

＜問題・課題を考える際のポイント＞

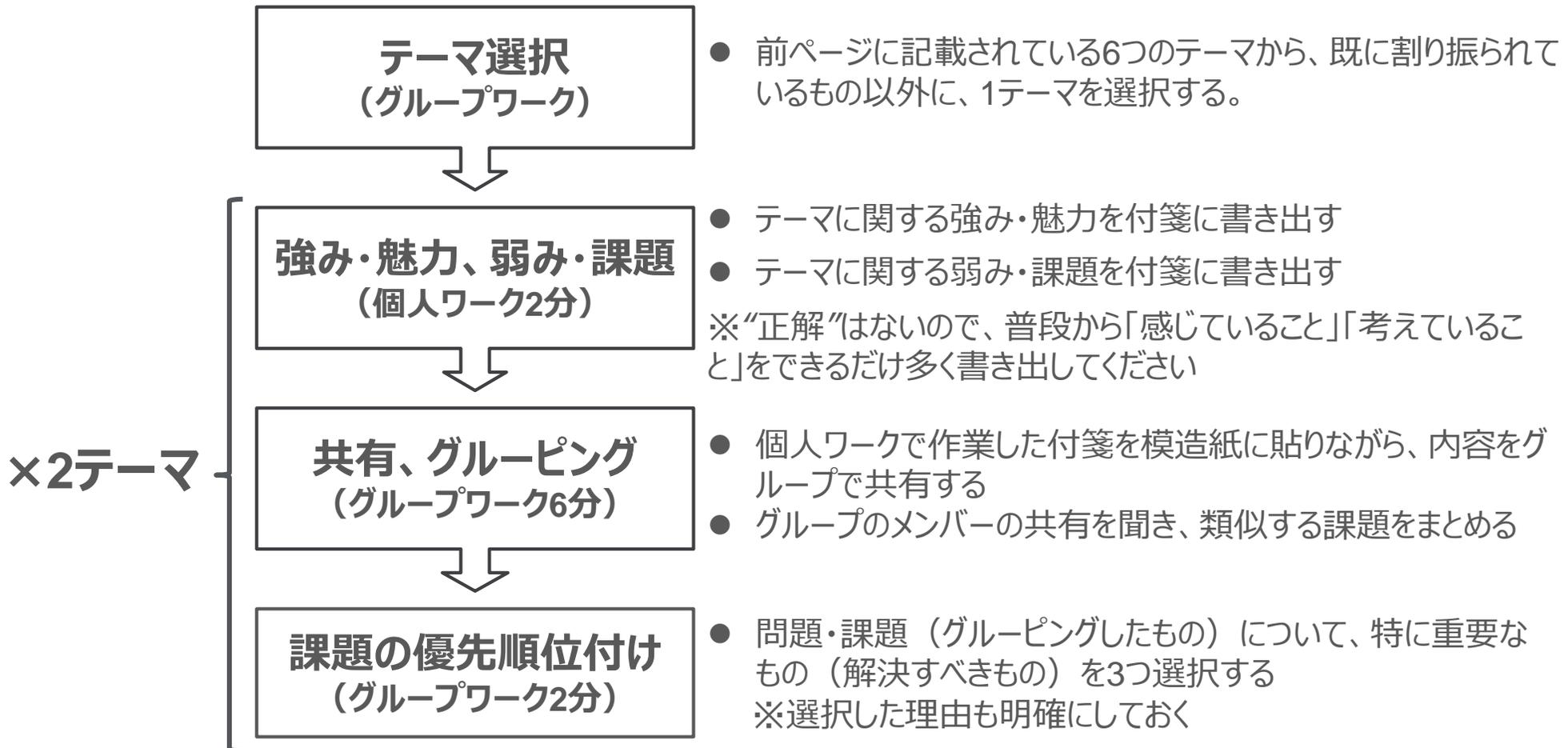
- 日常生活の中で困っていること、不便に感じていること、不満に感じていること
- 全国的な問題・課題で香取市にも当てはまると思うこと

No.	分野名	主なキーワード	担当
1	産業・経済	農業、林業、畜産業、商業、工業、雇用、観光、地域産業振興、企業誘致、産業誘致	グループA
2	自然環境・防災	自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+	グループB
3	子育て・福祉	地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障害者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療	グループC
4	教育・文化	学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術	グループD
5	都市基盤	都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道	グループE
6	市民参加・交流	市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革	グループF



# グループワークの進め方

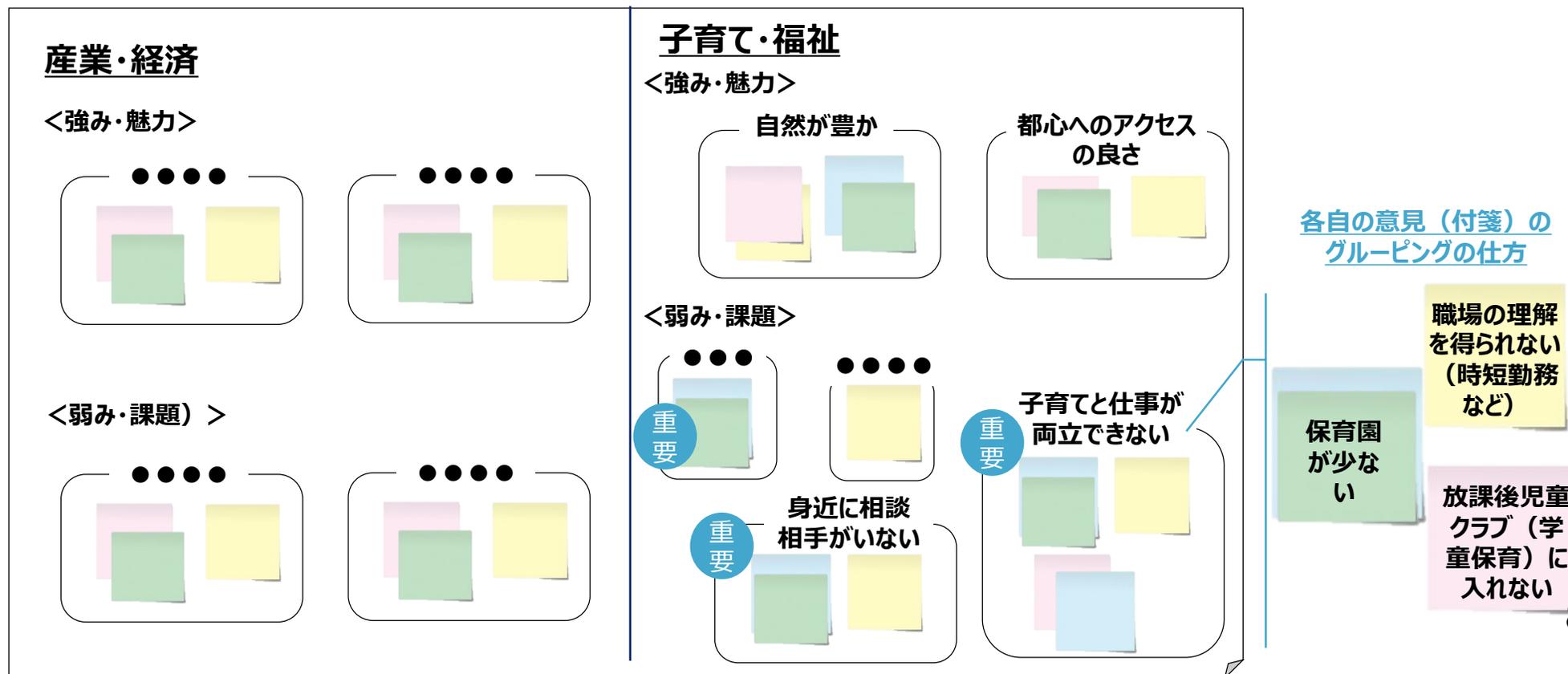
第1ラウンドでは、個人ワーク(計4分)とグループワーク(計16分)を行います





# 意見まとめイメージ

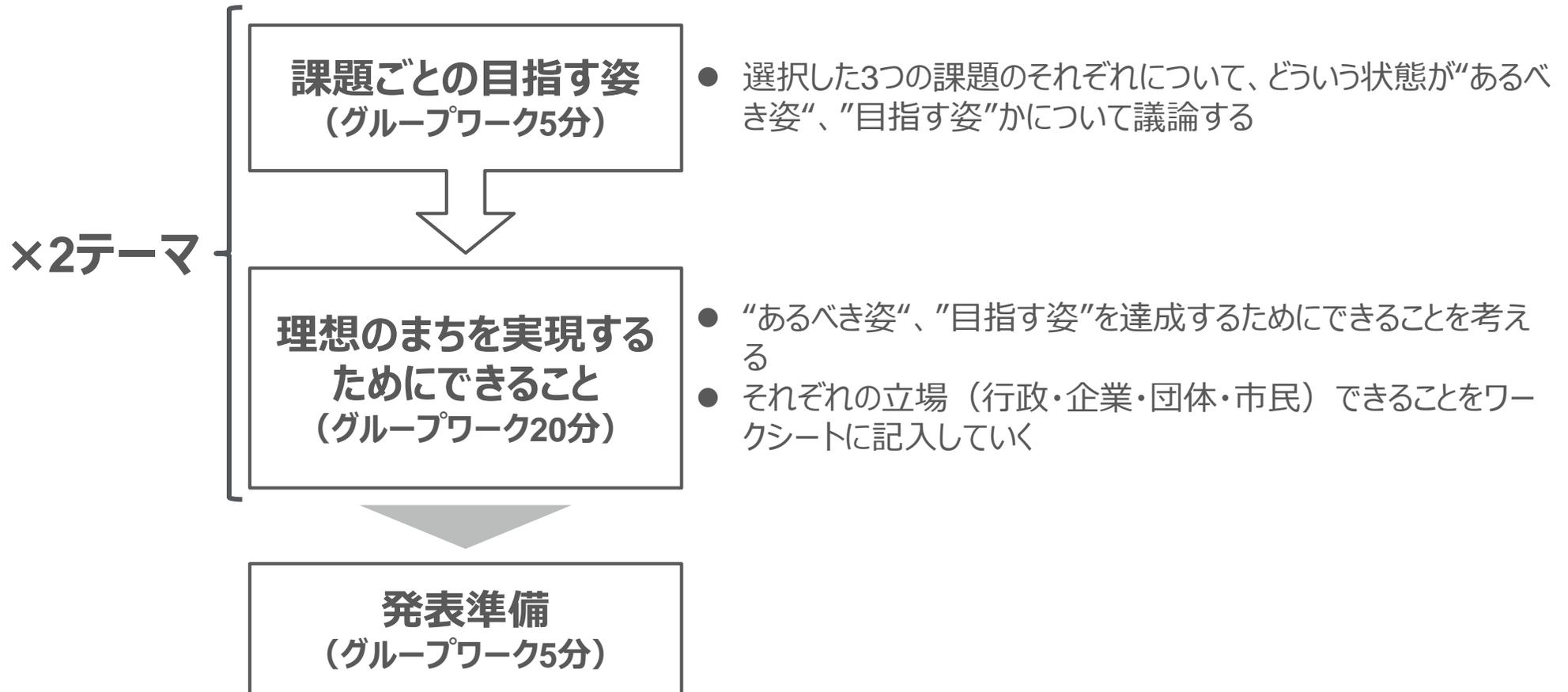
- 各テーブルに配布している模造紙の上部にグループの担当テーマを記入
- 個人ワークで弱み・課題を書いた付箋を、内容をシェアしながら模造紙に貼り付け
  - \* 話をしながら新たに出た弱み・課題は付箋に書いて追加する
- 似た意見をまとめて、タイトルをつける
- 弱み・課題については、特に重要なものを3つ選びシールを貼る





## グループワークの進め方

第2ラウンドでは、グループワーク(55分)を行います。







## 全体共有

各グループで話し合った結果を会場全体で共有する

発表内容は以下の2点とする

1グループ5分を目安とする

### ① 重要な課題と選んだ理由

- 重要な課題（各テーマ1つずつ）
- その課題を重要だと考えた理由

### ② 課題解決に向けた取組

- ①で説明した課題に対する取組（各テーマ1つずつ）
- 取組の実施主体